

フード＆テクノロジー関連
株式ファンド（資産成長型）
（愛称：フードテック）

運用報告書（全体版）
第3期

（決算日 2023年1月30日）
（作成対象期間 2022年8月2日～2023年1月30日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「フードテック」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2021年9月27日～2026年7月30日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	フードテック・マザーファンド の受益証券	
	フードテック・ マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引 所上場および店頭登録（上場予 定および店頭登録予定を含みま す。）の株式（ＤＲ（預託証 券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、信 託財産の成長に資することを目的に、配当等収益 の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を 決定します。ただし、配当等収益が少額の場合に は、分配を行なわないことがあります。		

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

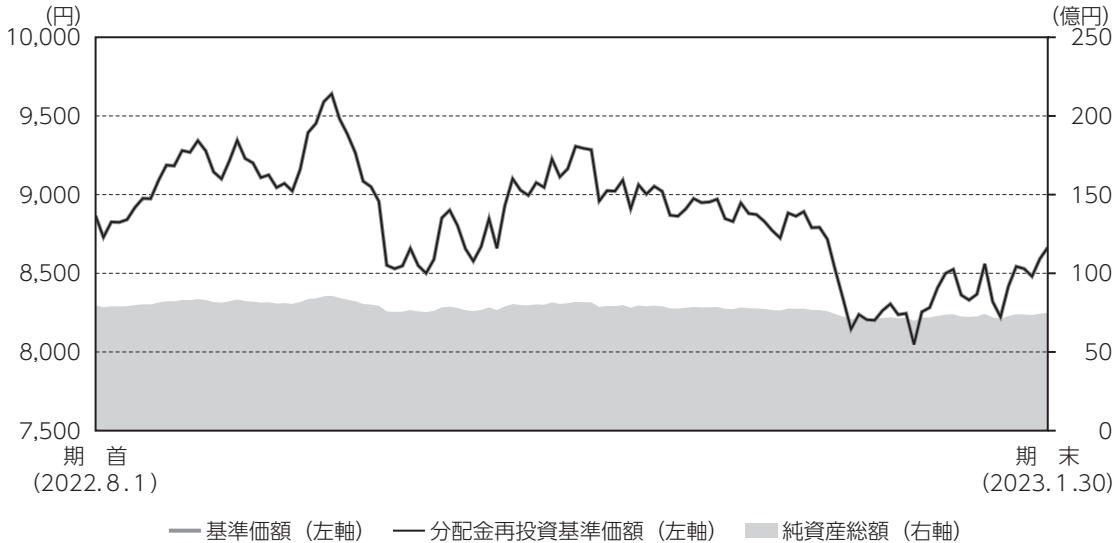
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 配	込 金 騰 落 中 率			
1 期末（2022年 1 月31日）	円 8,722	円 0	% △12.8	% 95.6	% －	百万円 7,728
2 期末（2022年 8 月 1 日）	8,866	0	1.7	98.7	－	7,958
3 期末（2023年 1 月30日）	8,664	0	△ 2.3	99.2	－	7,491

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：8,866円
 期末：8,664円（分配金0円）
 騰落率：△2.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

世界株式市況は、米国の金融引き締めによる景気減速懸念や利上げペースの減速観測に左右され、おおむね下落しました。また投資対象通貨は、円に対しておおむね下落（円高）し、基準価額のマイナス要因となりました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

フード&テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 式 率	株 先 物 比 式 率
		騰 落 率		
(期首) 2022年 8 月 1 日	円 8,866	% －	% 98.7	% －
8 月末	9,108	2.7	96.2	－
9 月末	8,549	△3.6	95.7	－
10月末	9,307	5.0	97.2	－
11月末	8,829	△0.4	99.2	－
12月末	8,245	△7.0	98.8	－
(期末) 2023年 1 月30日	8,664	△2.3	99.2	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022.8.2～2023.1.30)

■世界株式市況

世界株式市況は、おおむね下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より、米国の利上げ幅拡大後に悪材料出尽くし観測が出たことや、米国のインフレ率がピークアウトするとの期待感などから、2022年8月中旬にかけて上昇しました。その後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長がインフレ抑制姿勢を強調したこと、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、12月末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念され下落しました。当作成期末にかけては、中国のゼロコロナ政策の緩和や経済対策への期待感、米国の利上げペースの減速観測が支えとなり反転し、上昇しました。

■為替相場

為替相場は、対円でおおむね下落しました。

対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで日米金利差が拡大し、2022年10月下旬にかけて急速に円安が進行しました。しかし11月に入ると、インフレ率の減速期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、また、12月に日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識されて日本の長期金利が大きく上昇し、当作成期末にかけて投資対象通貨は対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2022.8.2～2023.1.30)

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、TOAST INC CLASS A（米国）、CORTEVA INC（米国）、DEERE & CO（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年8月2日 ～2023年1月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「フードテック・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■フードテック・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2022.8.2～2023.1.30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.702%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,848円です。
(投 信 会 社)	(27)	(0.302)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	12	0.136	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(12)	(0.136)	
有価証券取引税	2	0.027	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.027)	
そ の 他 費 用	3	0.030	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.013)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	79	0.895	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

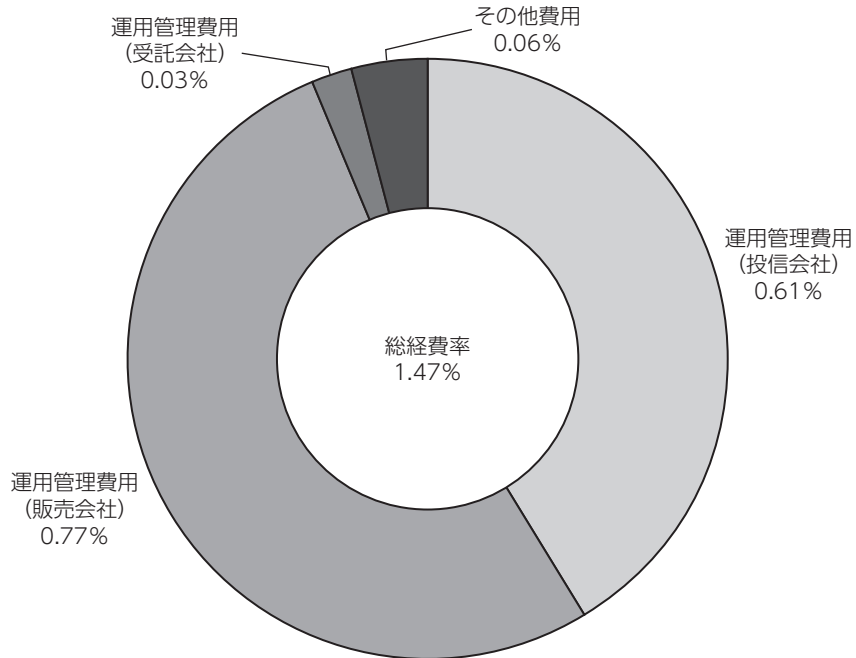
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年8月2日から2023年1月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
フードテック・マザーファンド	53,831	63,300	329,516	394,900

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年8月2日から2023年1月30日まで)

項 目	当 期
	フードテック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	9,062,533千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	7,554,346千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.19

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
フードテック・マザーファンド	6,665,863	6,390,179	7,477,787

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年1月30日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
フードテック・マザーファンド	7,477,787	99.0
コール・ローン等、その他	78,136	1.0
投資信託財産総額	7,555,924	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝130.11円、1香港ドル＝16.62円、1イギリス・ポンド＝161.32円、1スイス・フラン＝141.32円、1デンマーク・クローネ＝19.02円、1ノルウェー・クローネ＝13.21円、1フィリピン・ペソ＝2.387円、1インド・ルピー＝1.61円、1オフショア人民元＝19.298円、1ユーロ＝141.47円です。

(注3) フードテック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(7,468,744千円)の投資信託財産総額(7,522,535千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,555,924,574円
コール・ローン等	66,836,854
フードテック・マザーファンド(評価額)	7,477,787,720
未収入金	11,300,000
(B) 負債	64,763,260
未払解約金	9,850,483
未払信託報酬	54,699,194
その他未払費用	213,583
(C) 純資産総額(A－B)	7,491,161,314
元本	8,646,767,525
次期繰越損益金	△1,155,606,211
(D) 受益権総口数	8,646,767,525口
1万口当り基準価額(C／D)	8,664円

* 期首における元本額は8,975,945,618円、当作成期間中における追加設定元本額は241,518,684円、同解約元本額は570,696,777円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,664円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,155,606,211円です。

■損益の状況

当期 自2022年8月2日 至2023年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 10,863円
受取利息	272
支払利息	△ 11,135
(B) 有価証券売買損益	△ 120,482,970
売買益	13,845,670
売買損	△ 134,328,640
(C) 信託報酬等	△ 54,912,777
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 175,406,610
(E) 前期繰越損益金	△ 942,166,624
(F) 追加信託差損益金	△ 38,032,977
(配当等相当額)	(△ 624)
(売買損益相当額)	(△ 38,032,353)
(G) 合計(D + E + F)	△1,155,606,211
次期繰越損益金(G)	△1,155,606,211
追加信託差損益金	△ 38,032,977
(配当等相当額)	(△ 624)
(売買損益相当額)	(△ 38,032,353)
繰越損益金	△1,117,573,234

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	8,646,767,525口

フードテック・マザーファンド

運用報告書 第3期（決算日 2023年1月30日）

（作成対象期間 2022年2月1日～2023年1月30日）

フードテック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

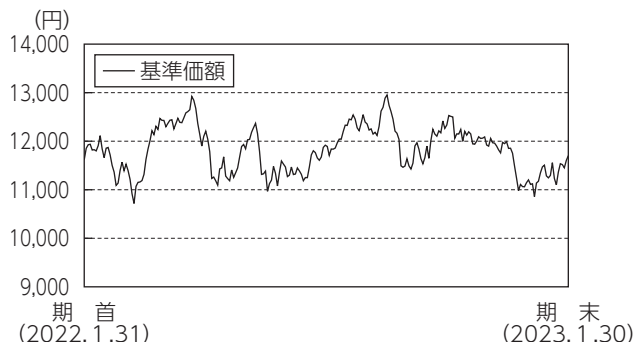
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株 式 組 入 制 限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額	騰落率	株式組入率	株式先物率
	円	%	%	%
(期首) 2022年 1月31日	11,619	—	95.9	—
2月末	11,398	△1.9	97.4	—
3月末	12,428	7.0	99.1	—
4月末	12,100	4.1	97.8	—
5月末	11,891	2.3	98.0	—
6月末	11,469	△1.3	97.0	—
7月末	11,918	2.6	98.8	—
8月末	12,230	5.3	96.6	—
9月末	11,492	△1.1	96.1	—
10月末	12,529	7.8	97.6	—
11月末	11,898	2.4	99.4	—
12月末	11,122	△4.3	99.1	—
(期末) 2023年 1月30日	11,702	0.7	99.3	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：11,619円 期末：11,702円 騰落率：0.7%

【基準価額の主な変動要因】

世界株式市況は、米国の金融引き締めによる景気減速懸念や利上げペースの減速観測に左右され、下落しました。一方で、米ドルなどが円に対して上昇（円安）しました。このような環境下において、日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」関連株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※「フードテック（FoodTech）」は、食（Food）とテクノロジー（Technology）を組み合わせた造語です。食と日々進歩するテクノロジーを融合させ、イノベーションを起こす新たなビジネス領域を意味します。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より2022年3月半ばにかけて、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、大きく下落しました。F R Bの利上げ決定後はいったん反発しましたが、4月から6月半ばにかけては、イ

ンフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するととの懸念が強まったことなどから、再度下落しました。6月半ば以降は、F R Bが利上げ幅の拡大を決定した後は原材料出尽くし観測から上昇に転じ、また米国のインフレ率がピークアウトするととの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きまし。その後は、F R B議長がインフレ抑制姿勢を強調したこと、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、12月末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念され、下落しました。当作成期末にかけては、米国の利上げペースの減速観測が支えとなり反転し、上昇しました。

○為替相場

為替相場は対円で上昇しました。

対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、2022年3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利の見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違により明確となって、円安が大きく進行しました。5月以降は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり円高が進行しましたが、6月に米国で大幅な利上げが行われたことなどから、7月半ばにかけて再度大きく上昇しました。その後は、米国金利が低下して日米金利差の縮小が意識されたことで円高となりましたが、8月には、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安に転じました。さらに9月に入ると、F R Bが大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安が進行しました。しかし11月に入ると、インフレ率の減速期待などから米国金利が低下したことで日米金利差の縮小が意識され、また、12月に日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識されて日本の長期金利が大きく上昇し、当作成期末にかけて投資対象通貨は、上昇幅を縮小しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると思われる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると思われる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、TOAST INC CLASS A（米国）、CORTEVA INC（米国）、DEERE & CO（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「フードテック（FoodTech）」に関連すると思われる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	40円 (40)
有価証券取引税 (株式)	9 (9)
その他費用 (保管費用) (その他)	6 (4) (2)
合 計	55

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株 式

(2022年 2 月 1 日から2023年 1 月30日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 10,360.75 (-)	千アメリカ・ドル 53,504 (-)	百株 8,040.1	千アメリカ・ドル 48,962
	香港	百株 3,150 (-)	千香港ドル 74,428 (-)	百株 2,825	千香港ドル 50,430
	スイス	百株 1,599 (-)	千スイス・フラン 3,517 (△ 58)	百株 479.5	千スイス・フラン 2,915
	デンマーク	百株 603 (-)	千デンマーク・クローネ 27,263 (-)	百株 463	千デンマーク・クローネ 17,630

■主要な売買銘柄
株 式

(2022年 2 月 1 日から2023年 1 月30日まで)

当				期					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
UBER TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		238.3	1,037,480	4,353	NUTRIEN LTD (カナダ)		68.8	780,625	11,346
TOAST INC CLASS A (アメリカ)		434.5	1,028,955	2,368	DARLING INGREDIENTS INC (アメリカ)		73.6	687,118	9,335
DARLING INGREDIENTS INC (アメリカ)		73.6	751,059	10,204	MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		243.8	639,968	2,624
MEITUAN-CLASS B (ケイマン諸島)		236.3	731,697	3,096	TOAST INC CLASS A (アメリカ)		233.5	515,401	2,207
YUM! BRANDS INC (アメリカ)		37.4	606,880	16,226	ZOETIS INC (アメリカ)		23.1	505,425	21,879
YUM CHINA HOLDINGS INC (アメリカ)		78.7	534,057	6,785	UBER TECHNOLOGIES INC (アメリカ)		148.3	504,541	3,402
NOVOZYMES A/S-B SHARES (デンマーク)		60.3	506,235	8,395	KONINKLIJKE DSM NV (オランダ)		25.8	473,795	18,364
STARBUCKS CORP (アメリカ)		37.9	497,444	13,125	DOMINO'S PIZZA INC (アメリカ)		9.98	472,821	47,376
SIG GROUP N AG (スイス)		159.9	472,822	2,956	TRIMBLE INC (アメリカ)		53.195	423,278	7,957
DOMINO'S PIZZA INC (アメリカ)		8.4	435,444	51,838	DEERE & CO (アメリカ)		8.7	394,837	45,383

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	ノルウェー	百株 (956 513.8)	千ノルウェー・クローネ 32,182 (-)	百株 1,791	千ノルウェー・クローネ 45,267
	フィリピン	百株 21,600 (-)	千フィリピン・ペソ 33,438 (-)	百株 112,800	千フィリピン・ペソ 151,886
	インド	百株 3,400 (-)	千インド・ルピー 27,231 (-)	百株 3,996.3	千インド・ルピー 189,876
	ユーロ (オランダ)	百株 32 (-)	千ユーロ 510 (-)	百株 258	千ユーロ 3,387
	ユーロ (ドイツ)	百株 390 (-)	千ユーロ 2,692 (△ 82)	百株 609.83	千ユーロ 3,723
	ユーロ (ユーロ 通貨計)	百株 422 (-)	千ユーロ 3,202 (△ 82)	百株 867.83	千ユーロ 7,110
国					

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
外国株式

銘柄		期 首		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	額	
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
DOMINO'S PIZZA INC		77.12	61.32	2,177	283,366	一般消費財・サービス
MIDDLEBY CORP		256.06	202.56	3,126	406,817	資本財・サービス
DEERE & CO		140	100	4,181	544,093	資本財・サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC		17.25	24.65	3,977	517,573	一般消費財・サービス
ZOETIS INC		271.37	135.37	2,236	290,931	ヘルスケア
MCDONALD'S CORP		161.25	135.75	3,698	481,230	一般消費財・サービス
UBER TECHNOLOGIES INC		—	900	2,732	355,512	資本財・サービス
CORTEVA INC		816	702	4,480	583,005	素材
NUTRIEN LTD		573	130	1,050	136,684	素材
TOAST INC CLASS A		—	2,010	4,576	595,483	情報技術
YUM! BRANDS INC		—	206	2,639	343,422	一般消費財・サービス
ECOLAB INC		112	—	—	—	素材
FMC CORP		—	214	2,829	368,147	素材
TRIMBLE INC		445.95	—	—	—	情報技術
STARBUCKS CORP		—	369	4,022	523,411	一般消費財・サービス
アメリカ・ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	2,870 10銘柄	5,190.65 13銘柄	41,731 <72.6%>	5,429,680 <72.6%>	
(香港)		百株	百株	千香港ドル	千円	
YUM CHINA HOLDINGS INC		—	400	19,760	328,411	一般消費財・サービス
MEITUAN-CLASS B		1,245	1,170	20,463	340,100	一般消費財・サービス
香 港 ドル 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,245 1銘柄	1,570 2銘柄	40,223 < 8.9%>	668,511 < 8.9%>	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン	千円	
SIG GROUP N AG		—	1,125	2,547	359,942	素材
GIVAUDAN-REG		5.5	—	—	—	素材
スイス・フラン 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	5.5 1銘柄	1,125 1銘柄	2,547 < 4.8%>	359,942 < 4.8%>	
(デンマーク)		百株	百株	千デンマーク・クローネ	千円	
NOVOZYMES A/S-B SHARES		—	140	4,853	92,319	素材
デンマーク・クローネ 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	— 1銘柄	140 1銘柄	4,853 < 1.2%>	92,319 < 1.2%>	
(ノルウェー)		百株	百株	千ノルウェー・クローネ	千円	
TOMRA SYSTEMS ASA		733.8	412.6	7,597	100,364	資本財・サービス
ノルウェー・クローネ 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	733.8 1銘柄	412.6 1銘柄	7,597 < 1.3%>	100,364 < 1.3%>	
(フィリピン)		百株	百株	千フィリピン・ペソ	千円	
MONDE NISSIN CORP		91,200	—	—	—	生活必需品
フィリピン・ペソ 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	91,200 1銘柄	— —	— < —>	— < —>	
(インド)		百株	百株	千インド・ルピー	千円	
JUBILANT FOODWORKS LTD		596.3	—	—	—	一般消費財・サービス
インド・ルピー 通 貨 計	株数、金額 銘柄数<比率>	596.3 1銘柄	— —	— < —>	— < —>	
ユーロ (オランダ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
KONINKLIJKE DSM NV		226	—	—	—	素材
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	226 1銘柄	— —	— < —>	— < —>	

銘 柄	期 首		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ (ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
GEA GROUP AG	918	912	3,762	532,339	資本財・サービス
DELIVERY HERO SE	170.83	—	—	—	一般消費財・サービス
SYMRISE AG	221	178	1,735	245,521	素材
国 小 計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,309.83 3銘柄	1,090 2銘柄	5,498 <10.4%>	
ユーロ通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,535.83 4銘柄	1,090 2銘柄	5,498 <10.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	98,186.43 19銘柄	9,528.25 20銘柄	— <99.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年1月30日現在

項目	当期	期末
	評価額	比率
株式	千円 7,428,678	% 98.8
コール・ローン等、その他	93,857	1.2
投資信託財産総額	7,522,535	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、1月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝130.11円、1香港ドル＝16.62円、1イギリス・ポンド＝161.32円、1スイス・フラン＝141.32円、1デンマーク・クローネ＝19.02円、1ノルウェー・クローネ＝13.21円、1フィリピン・ペソ＝2,387円、1インド・ルピー＝1.61円、1オフショア人民元＝19,298円、1ユーロ＝141.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（7,468,744千円）の投資信託財産総額（7,522,535千円）に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年1月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	7,536,834,373円
コール・ローン等	91,998,143
株式(評価額)	7,428,678,002
未収入金	14,300,000
未収配当金	1,858,228
(B) 負債	58,848,801
未払金	47,548,801
未払解約金	11,300,000
(C) 純資産総額(A－B)	7,477,985,572
元本	6,390,179,218
次期繰越損益金	1,087,806,354
(D) 受益権総口数	6,390,179,218口
1万口当り基準価額(C／D)	11,702円

* 期首における元本額は6,722,749,386円、当作成期間中における追加設定元本額は234,021,307円、同解約元本額は566,591,475円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 フード＆テクノロジー関連株式ファンド（資産成長型） 6,390,179,218円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,702円です。

■損益の状況

当期 自2022年2月1日 至2023年1月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	62,711,584円
受取配当金	61,477,395
受取利息	1,239,300
その他収益金	5,998
支払利息	△ 11,109
(B) 有価証券売買損益	3,196,396
売買益	1,718,926,552
売買損	△1,715,730,156
(C) その他費用	△ 3,816,930
(D) 当期損益金(A + B + C)	62,091,050
(E) 前期繰越損益金	1,088,221,609
(F) 解約差損益金	△ 103,384,998
(G) 追加信託差損益金	40,878,693
(H) 合計(D + E + F + G)	1,087,806,354
次期繰越損益金(H)	1,087,806,354

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。